



157 ドルもある2つの塔の迫力はすごい

西約百五十キロにある百万都市ケルンはベルリン、ハンブルク、ミュンヘンに次ぐドイツ第四の都市だ。フランクフルトは人口約七十万、第五の都市である。

ケルンの大聖堂（上）

金祝・ドイツの旅⑧

西約百五十キロにある百万都市ケルンはベルリン、ハンブルク、ミュンヘンに次ぐドイツ第四の都市だ。フランクフルトは人口約七十万、第

フランクフルトへの直行便。フランクフルト以外で訪れた都市はこのケルンだけ。目的は世界遺産、ゴシック様式の建物で世界最大のケルン大聖堂だ。

五の都市である。

フランクフルトへの直
行使。フランクフルト
以外で訪れた都市はこ
のケルンだけ。目的は
世界遺産、ゴシック様
式の建物で世界最大の
ケルン大聖堂だ。

四年になつて再開され、聖堂に近づき下がる。見上げると自然に畏敬の念がわき出る。神の偉大さを人々に伝えようと、最も印象的で、最も記憶に残る建物である。うとしたのだろうか。この写真の二基ある尖塔は、れど世界遺産の中の世界遺産と実感する。高さが百五十七メートルもある。南塔の階段を五百九段登ると九十五メートルの高さが百五十七メートルもある。最近やたらと世界遺産が増えたような気がある。

である聖堂
りも観光の
つある。科学
先達し、人間
き
よっていな

に傲慢に生きていた
とに気付かされる。神
前でもっと謙虚に生
こねばならないのだ。
世界遺産のケルン大

A vertical photograph showing the upper portion of a Gothic cathedral's spire. The spire features intricate stonework, including multiple tiers of pointed arches and decorative carvings. It is set against a clear, pale blue sky. In the bottom right corner, the dark silhouette of another cathedral tower is visible.

する。この巡礼の道を書き始めた二〇〇六年の翌年に発売された「二十一世紀・世界遺産の旅」(小学館)には

は遺年たをだらうか。せにはなつたがせではない。せではある。幸ひの中に生

音より長寿
が、長寿が幸
老いても喜
きて初めて

聖堂はあくまで祈りの場であり、先人の祈りの歴史を学ばねばと思つ。大切なのは建物よりもそれを何百年もか

A photograph showing the upper portion of a Gothic cathedral's facade. The central feature is a tall, narrow spire with a sharp, conical roof covered in numerous small spires (pinnacles). A large cross sits atop the very peak. To the right, another tall spire is visible, though partially cut off by the frame. The cathedral's stone walls are detailed with intricate tracery and pointed-arch windows. The sky above is a clear, pale blue.

さき年今來事で、今前であつたらできなくとつて、確かり得ないと自身、何

が転んで骨は
た。一瞬の出
まで当たり
歩くことす
なる。人間に
が、絶対はあ
実感する。自
一つできない

りて造つた先人の心を
伝承することだと巨大
な聖堂の中で思った。

国だが、ケルン教区は高さにある展望台に到達後、日本のカトリック達する。その上の「ペトロの鐘」は世界最大だ。教会のために多額の寄付をしたと聞く。

激な増加が
観光目的と
思えぬでも
ない。

2つの尖塔の
一

の真下にあたる
西玄関口から入る



巡礼心得メモ